十和田湖とヒメマス

日本には「水清ければ魚棲まず」ということわざがあります。カルデラ湖である十和田湖には周りの斜面からの流入がほとんどないので、水中で豊かな食物連鎖を維持するのに必要な栄養素が足りません。また、十和田湖から唯一流れ出る奥入瀬川は、高い滝が下流からやってくる魚をせき止めています。しかし、1905年にコカニーサーモンとしても知られるヒメマスの養殖が開始され、湖に生息するようになりました。ヒメマスは澄んだ湖の栄養素の少ない水の中でも健康に育つことができます。